



つくばりんりんロード(旧虫掛駅付近)

通るルートが整備され、本市の観光、活性化に極めて有効であると考えるが、現在の整備状況を鑑み、あくまでも暫定的な利用形態の一つとして県に打診する。案内標識の件についても、わかりやすい表示とするように、早速県と調整してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

- 一 都市計画道路荒川沖・木田余線(小松坂下附近)の買収状況と今後の見通しについて
- 二 (仮称)イオン土浦ショッピングセンターの新店について

土浦市住宅公社の金融機関からの借入損失補償は違法



柏村 忠志 議員

質問

市は、一般会計から土浦市住宅公社に対して債務負担行為六十五億円を予算化している。さらに、市は同公社向けの融資銀行と損失補償契約書を締結している。これらは「法人に対する政府の財政援助の制限に関する法律」に抵触すると思われるが、考えを伺う。

監査委員 地方公共団体は、法人に

対して「政府の財政援助の制限に関する法律第三条」により、原則としては債務補償ができないこととされている。しかし、旧自治省行政課長による昭和二十九年五月十二日付の「損失補償については法人に対する政府の財政援助の制限に関する法律第三条の規制するところではないものと解する」との行政事例が示されていることから、地方公共団体においては、全国的に広く損失補償契約が締結

されているものと考えられる。

(掲載以外の質問事項)

- 一 コミュニティバスなどの公共交通の確立について

土浦・新治線の供用開始にあわせた(仮称)赤池公園の整備について



久松 猛 議員

質問

土浦・新治線の供用開始にあわせた(仮称)赤池公園の整備について、道路整備が十七年度までに完了の見通しが立たなかったという状況のもとで、公園整備も着手できなかつたと思われる。しかし、同線は平成二十一年をめぐりに供用開始に向けて整備していると聞いているので、公園整備に着手するべきと考え、見解を伺う。

市長

現在、県事業で進められている土浦・新治線の進捗状況であるが、旧国道六号の赤池付近から、都市計画道路木田余・池下線までの約八百七十メートルの区間を、暫定二車線として平成二十一年度の供用開始を目指して整

備が進められている。これに伴い、今後の(仮称)赤池公園の整備については、赤池の一部埋立て関係や、用地の取得、都市公園としての位置付けなど、国、県とも十分に協議し、地元関係者のご理解ご協力を頂

きながら、早期整備実現に向けて鋭意努力してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

- 二 インフルエンザ予防接種補助の障害者への対象拡大を
- 三 障害者に準ずる者などの認定基準について
- 四 厚生労働省雇用均など、児童家庭局母子保健課長通知「妊婦健康診査の公費負担の望ましいあり方について」に照らした本市の対応について
- 五 生活保護行政について

行政機構の一部見直しについて



宮本 孝男 議員

平成十九年度行政機構の一部見直しについて、

「新たな行政課題に対応できる組織づくり」、「簡素、効率でスリムな組織づくり」、「市民にわかりやすく利用しやすい組織づくり」とあるが、この三つの目標の具体的な形は、また、土浦市定員適正化計画を行う中で、最終的に職員数を何名程度にするのか。さらに、住民サービスが低下しないためには、職員一人当たりの市民数は何人が適当か、伺いたい。

市長

地方自治体においては、地方分権、多用化する市民ニーズへの対応など、行政課題を迅速で的確に解決できる執行体制が求められており、本市においても見直しを行った。具体的には、新たな行政課題に対応するための土浦駅北開発事務所を設置、市民にわかりやすく利用しやすいスリムな組織づくりとして、道路行政を集約し、道路管理課と土木課を統合して道路課とするなど、組織の一本化を図ることによって、市民サービスの向上につながると考える。また、土浦市定員適正化計画では、向こう五カ年で十パーセント程度の削減を目標とし



ている。現在本市では、一般行政職の職員一人当たりの市民数が二百七人であり、近隣市町村と比較して、概ね平均値である。

(掲載以外の質問事項)
二 霞ヶ浦浄化について

新運動公園建設について



勝田 煦 議員

質問 新運動公園建設について、市では買収用地の管理を行っているが、冷蔵庫、たんす、車のタイヤなどの粗大ごみ、家庭ごみの不法投棄が見受けられる。このままでは進展が見られないと思うが、今後の対応について伺う。

市長 用地買収が難航しており、一日も早い用地問題の解決に向けて、現在多岐にわたる検討整理を行っている。また、取得済み用地の管理状況については、火災防止のための草刈り及び産業廃棄物など不法投棄防止のための看板設置や巡回を定期的実施し



常名運動公園建設用地

ている。今後の対応について、当該運動公園基本計画については、地域の皆様方を始め、各界各層の方々のご意見を反映させた見直しが必要であるところから、平成十九年度に見直しのための検討委員会を設置する考えである。したがって、今後の施設整備については、検討作業及び用地買収の完了後に着手いたしました。

(掲載以外の質問事項)

二 土浦市の活性化について
三 土浦市のAED(自動体外式除細動器)の設置状況などについて

合併後の行財政改革について



宮本 勉 議員

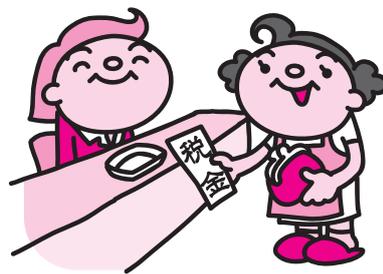
質問 本市の予算編成について、一般的に歳出削減の議論が先に行われ、歳入の議論は後からついてくるのではないかと思います。厳しい財政状況を考えると、歳入確保の議論、施策はどのように行われたか伺う。

市長 歳入確保の施策として、第一に歳入の根幹である市税の徴収率向上に全力を注いでいる。また、企業誘致や観光客誘致などにより、法人市民税や固定資産税の税収確保、商業の活性化による直接的な自主財源の増収を考えている。しかし、地方公共団体は収入額の多少に関わらず、一定の行政サービスを提供、支出しなければならぬ側面もあるため、市税の徴収能力向上や、新たな財源の創設に努めるとともに、限られた財源で最大限の行政効果を上げるためには、徹底した歳

出の見直し、厳選が必要であり、それらによって均衡ある質の高い行政サービスが提供できると考える。

(掲載以外の質問事項)

二 土浦市農業公社について
三 土浦市小町の里の整備について
四 土浦市の上水道、下水道整備について
五 平成十八年度納税申告について



平成十九年度当初予算における市長公約への反映度は



小林 幸子 議員

質問 平成十九年度当初予算において、市長公約、日本一住みやすい土浦、住んでい

てよかった土浦、市長基本政策の反映度はいかがなものか。また、過去三年間の市長公約に対する主要政策の実績は。さらに十九年度の重点政策について伺う。

市長 公約であります「日本一住みやすいまち」の実現に向け、新治村との合併をはじめ、自主・自立の市政運営を推進するため徹底した行財政改革を行ったほか、自主防犯組織の結成支援など安心・安全なまちづくり、中心市街地の活性化に向けたまちづくり活性化バスの運行、土浦駅前北地区市街地再開発事業の事業化など、諸施策を推進し、一定の成果を認められたものと考えている。十九年度の主要施策については、新しい土浦づくりの指針となります「第七次土浦市総合計画」の策定をはじめ、新図書館とマンションを核とする土浦駅前北地区市街地再開発事業を推進するほか、神立駅西口地区土地区画整理事業、虫掛・藤沢間の市道整備、朝日峠のトンネル化を推進していく。

(掲載以外の質問事項)

二 本市の自主財源創出への取組みについて



妊婦無料検診の拡大について



吉田千鶴子 議員

質問 妊婦検診は、健康で安全なお産をするため、母子保健法において規定されており、市においては、健診費用の二回分を一部公費負担としている。平成十九年度において、厚生労働省は五回の公費負担をする方針になっているが、市の取組みについて伺う。

保健福祉部長 本市では現在、二回分の受診券を母子健康手帳とあわせて交付している。県内すべての産婦人科で統一した一部公費負担により、同一の健康診査が受けられる制度になっており、現在の二回分から五回分に拡大する場合、これまでの健診内容が変わるため、健診料、公費負担額も変わってくる。現制度は県内の全産婦人科で統一した公費負担であることから、この制度を維持しつつ、全県下一斉に実施できるよう周辺市町村との連携を密にし、関係機関と

調整を図っているとところである。

(掲載以外の質問事項)

- 二 学校図書館書整備計画について
- 三 (仮称)放課後子ども教室推進事業について



チャイルドシート貸出し事業について



坂本喜久江 議員

質問 平成十二年の四月一日から、六歳未満の乳幼児を乗車させる場合にはチャイルドシートの着用が義務付けられた。これに伴い、市では毎月一回ペーパーシート貸出し事業を行っているが、この事業は子育て支援の大きな力になっていると思われ、ぜひ継続していただきたい。今後の考えを伺う。

市長

本市では、義務化に先駆け、国の少子化対策臨時特例交付金の活用によりチャイルドシートを購入し、平成十二年の三月から貸出し事業を開始した。警察庁が行っているチャイルドシート使用状況全国調査を見ると、一歳未満で七十二・四％、六歳未満全体で四十九・４％と、依然として低い使用率である。子供の尊い命を守るうえで大きな効果があることから、今後もより使いやすい製品へ順次更新し、広報紙などで幅広く呼びかけながら事業を継続してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

- 一 土浦駅前北地区再開発事業について



子供の命を守るチャイルドシート

行政サービスの不公平・不平等などについて



古沢 喜幸 議員

質問 キララバスの運行ルートについて、利用している市民は大変便利で大いに役立っているとのことであるが、一部の地域、市民しか利用できないため不公平であると考え、今後の是正について伺う。

産業部長

本年四月一日からの本格運行を予定しているキララバスについては、三路線同時乗換えを行えるようにしたほか、運行時間帯の拡大など、利用者の利便性を考慮した。また、中心市街地の活性化を最大の目的としてNPO法人が運行しており、市内全域への路線拡大は本来の運行趣旨と異なることから非常に難しい。「乗合いタクシー土浦」をご活用いただきたい。

(掲載以外の質問事項)

- 二 水道事業について
- 三 乙戸沼公園整備について

議会を傍聴してみませんか



詳しくは、議会事務局へ

インターネットの場合は、「土浦市議会事務局」で検索してください。「傍聴」のコーナーで詳しくお知らせしております。

電話 029(826)1111 内線 2277 FAX 029(826)3379



4月1日から本格運行した「キララバス」